みんなでつないでリレーエッセイ

◎町民の皆さんから皆さんへエッセイをつないでいくコーナーです。お誘いが来たら、ぜひ書いてくださいね。

MONTHLY RUNNER

ふりかえって

谷本　薫（かおる）さん（上宿間）

内子町に来て、18年になりました。

まず、家族を紹介します。肉体改造が必要になり始めた主人45歳、4月から社会人になった長男19歳、少し乙女に目覚め始めた長女16歳、思春期真っただ中の二男14歳、反抗期絶好調の三男10歳、そして加齢に悩み始めた私44歳の6人家族です。

私は今治市出身で、内子町には知り合いはいませんでしたが、4人の子どもを授かり、子どもを通じてたくさんの人に出会わせてもらうことができました。

娘、長女16歳は、ダウン症です。障害があると聞かされた時は、泣いてばかりで、部屋から出ることができませんでした。ある日、長男から「赤ちゃんが生まれてうれしいのになんで泣くん？」と問われて、気付くことができました。長男も家族も長女が生まれたことを喜び、受け入れてくれていました。

保健師さんの紹介で療育を受けながら、一歳でくるみ保育園に入園、そして、弟二人の姉になり、弟たちをうれしそうに抱っこしたり、遊んだりと、一緒に育ってきました。

育てながら、しんどいなと思うことは何度もありました。身辺自立、言葉、遊びと、友達との差が広がり不安になりましたが、とても熱心な先生たちや優しい友達に出会い、地域の皆さんに見守られて、天神小学校、五十崎中学校を卒業することができました。

現在は宇和特別支援学校に入学し、宿舎に入って共同生活を楽しんでいます。

私は、家族と一緒に泣いたり、笑ったり、怒ったりと、長女を育てることができたことを大変うれしく思います。そして励まし支えてくれた多くの皆さんに感謝します。

振り返るとまだ18年です。やれることは諦めず、前向きに、「笑」を忘れずに、頑張っていきたいと思います。

▼▼次は、久保育子（いくこ）さん（新川町）にお願いします。

12.3

山中　大輝（だいき）くん　内子19第1

甘えん坊で泣き虫の僕だけど、早くお姉ちゃんと遊びたいな♡

12.9

上久保　一琥（いちご）くん　昭和

お姉ちゃんと、お兄ちゃんが大好き♡　早く一緒に遊びたいな♡

12.10

飛野　花（はな）ちゃん　柿原

落っこちそうなこのほっぺ。たまりません♡　元気に育ってね。

12.11

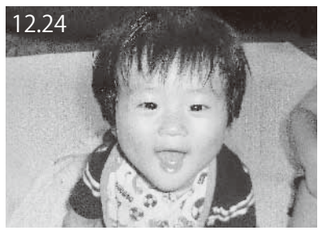
佐伯　紫音（しおん）くん　東沖

お兄ちゃん大好き♡　僕も一緒にしゃぼん玉したいよぉ～

12.19

大程　愛華（あいか）ちゃん　程内

いつも元気いっぱい、やる気まんまん。やんちゃな愛華です！



12.24

嶋﨑　宗佑（そうすけ）くん　本町2

ご飯大スキ。お外大スキ。ねぇねぇ大スキ。やんちゃ坊主です♡

12.28

鈴木杏佳（きょうか）ちゃん・佑佳（ゆうか）ちゃん（内子18第2）

アワワができるようになりました。ただ今、バイバイを特訓中です。

12.30

大森　唯太郎（ゆいたろう）くん　内子19第1

早く歩けるようになって、じいじ、ばあばとお出かけしたいです♡

12.30

中野　陽翔（はると）くん　妙見町

お姉ちゃん大好き♡　歩けるようになったら一緒にお散歩行こうね

12.31

亀岡　湊人（みなと）くん　寺成

食いしん坊で伸び盛り。
早く歩けるようになりたいな。

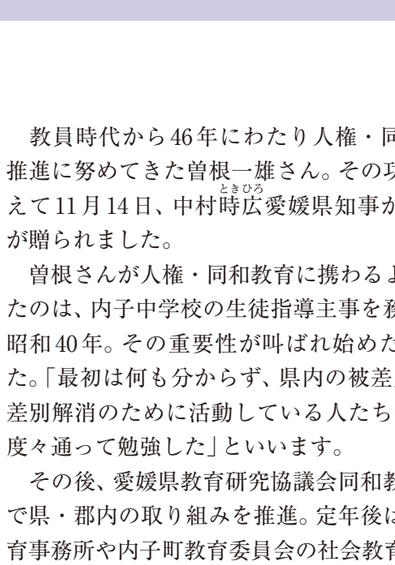
おめでとう はじめてのバースデー

HAPPY BIRTHDAY

◎12月に満1歳になる子どもたちを紹介します。

人権・同和教育の推進に尽力

曽根　一雄（かずお）さん（87）内子9



教員時代から46年にわたり人権・同和教育の推進に努めてきた曽根一雄さん。その功績をたたえて11月14日、中村時広（ときひろ）愛媛県知事から表彰状が贈られました。

曽根さんが人権・同和教育に携わるようになったのは、内子中学校の生徒指導主事を務めていた昭和40年。その重要性が叫ばれ始めたころでした。「最初は何も分からず、県内の被差別地区や、差別解消のために活動している人たちのもとに、度々通って勉強した」といいます。

その後、愛媛県教育研究協議会同和教育委員会で県・郡内の取り組みを推進。定年後は八幡浜教育事務所や内子町教育委員会の社会教育指導員として、大人を対象とした教育にも力を注いできました。特に「人権・同和教育を他人事にせず、お互いを大切にする」ことを目指し、身近な地域単位で、みんなで話し合い・意見を出し合う参加型の学習会を繰り返し開いたそうです。

職を降りた現在も、地域に招かれ講師を務めることもあるという曽根さん。「人はみんな同じ。それを忘れてはいけないと、いつも自分に言い聞かせています」と話していました。

町内初の少年フットサルチーム

立川フットモンキー

本年８月、町内に初の少年フットサルチーム「立川フットモンキー」が誕生しました。

フットサルは、サッカーによく似た５人制のスポーツ。子どもたちにいろいろなスポーツを経験させてあげたいと、立川地区に住む成川幸三（こうぞう）さんが中心となって結成しました。現在のメンバーは同地区の小学生13人。練習は週に１回で、サッカーやフットサルの経験がある地元の人や保護者が指導に当たり、地域ぐるみで活動を支えています。監督を務める本田浩二（こうじ）さんと植岡孝康（たかみち）さんは「技術的なことよりも、まずは楽しくプレーすることが一番。明るくていい雰囲気のチームになってきた」といいます。

この日、初めて練習に参加したという稲葉るりさん（立川小６年）は「サッカーと違ってコートが狭くて難しかったけど面白かった。これからも続けたい」とにっこり。結成時からチームを引っ張っている福本志温（しおん）くんと萬奥桃華（ももか）さん（共に同小６年）は「みんなとても仲がいいチーム。もうすぐ初めての練習試合があるので、いいプレーをして勝てるように頑張りたい」と元気いっぱいに意気込みを語っていました。

内子町の人☆キラリ

◎若者と大人。異なる世代の皆さんに、頑張っていることや楽しんでいることを聞きました。「キラリと光るエコロジータウン・内子」の光の源です。

◎皆さんの「声」をお寄せください

まちの声

VOICE

声　内山衛生事務組合のごみ袋の改良を希望します。燃えるごみの袋は破れやすく、ペットボトル用の袋はくっついて開きにくいことがあり、使いづらいです。（60代・男性）

答　収集した大量のごみを焼却する際、袋にごみが詰め込まれた塊の状態で燃やすよりも、ばらけた状態で燃やす方が燃焼効率が高いことから、内山衛生事務組合ではあえて破れやすいごみ袋を採用しています。効率を高めることで、燃焼時間の短縮や省エネになり、二酸化炭素の排出削減につながります。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

ペットボトル用のごみ袋がくっついてしまう原因としては、長期にわたって重い物などの下で圧縮されていたり、日光を浴び続けたりしたことなどが考えられます。もしも買ったばかりの袋が開かない場合は、ご連絡ください。（環境政策室）

●紙面などの都合で全てを掲載できない場合があります。ご了承ください。

【宛て先・問い合わせ】
〒795-0392
内子町役場　総務課
政策調整班　広報・広聴係
☎0893(44)2111
✉koho@town.uchiko.ehime.jp

Q 広報クイズ QUIZ

◎正解者の中から抽選で10人に図書カード（500円分）をプレゼント

広報うちこ（12月１日号）を読んで、①～⑤番の丸印の空欄をひらがな・カタカナでうめてください。「●」の文字を①番から順につなぐと、ある言葉になります。どんな言葉ができるでしょう。
※小さい「っ」「ゅ」や、濁点が付いている「が」なども一文字とします。

①姉妹都市、ローテンブルク市の正式名称は「ローテンブルク・●○・○○・○○○○」。
②12月24日に内子座でミュージカル「●○○○に駆けるサムライ」が上演されます。
③小田地区の小学５年生を対象に10月28日、「●○○の教室」が開かれました。
④今号の人☆キラリは、人権・同和教育の推進に力を尽くす●○○○○さんを紹介。
⑤医療法人弘友会「●○○○○○○」の移転新築工事が完了し、11月15日から診療を開始しました。

■応募方法■
ハガキに、クイズの答え、氏名、住所（行政区）、年齢を書いて送ってください。応募は１人１通までです。
■宛て先■　〒795−0392
内子町役場　総務課　広報・広聴係
■締め切り■　１月１日（消印有効）
■当選者発表■　広報うちこ（２月１日号）

10月１日号クイズ当選者の皆さん（敬称略）
●正解　あきまつり
●応募数　49
●正解数　49

藤井千津子（内子５）
鎌田　嘉之（内子14）
織田　優波（松尾）
西野　啓悟（松尾）
小野ヒロ子（護国）
川口　文子（川登）
篠原　美鈴（上町）
近田カヲル（西沖）
小西　寿司（岡第２）
水田　仁美（臼杵中）

みんなのひろば